

**1. 譲渡又は提供する者の名称及び所在地(製品及び会社情報)**

会社名 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

住所 : 〒141-8673  
東京都品川区東五反田 3-20-14

緊急連絡先電話番号 :  
03-3537-3939

製品名 : コバトロールII (容量 4 本×1.5 mL)

製品番号 : 4255

作成日 : 2009/06/15

改定番号 : 3.0

**2. 製品の名称及び危険有害化学物質の名称その他の危険有害化学物質の識別に関する事項**

単一製品・混合物の区別 : 混合物

毒物または劇物の別 : シアン化カリウム : 毒物及び劇物取締法の毒物に該当する。

化学名 : シアン化カリウム (Potassium cyanide)  
フェリシアン化カリウム (Potassium ferricyanide)

含有成分および含有量 : シアン化カリウム 0.0005%  
フェリシアン化カリウム 0.002%

化学式または構造式 : シアン化カリウム  $K(CN)$   
フェリシアン化カリウム  $K_3[Fe(CN)_6]$

官報公示整理番号(化審法・安衛法) :  
シアン化カリウム (化審法 1-1086・安衛法一)  
フェリシアン化カリウム (化審法 1-134・安衛法一)

CAS No. : シアン化カリウム 151-50-8  
フェリシアン化カリウム 13746-66-2

国連分類および国連番号 :  
シアン化カリウム 【国連番号】 1680、【国連分類番号】 クラス6.1等級 I  
フェリシアン化カリウム 該当なし

(注意: 本製品はヒト血液由来の物質を含んでいる。含有される血液は HIV1e2、HBsAg、HCV 抗体検査で陰性であることが確認されている。)

**3. 危険性又は有害性の種類**

分類の名称 : シアン化カリウム 急性毒性物質、その他の有害物質  
フェリシアン化カリウム 分類基準に該当しない。

危険性 : シアン化カリウム 酸と反応して有毒かつ引火性のシアン

	フェリシアン化カリウム	化水素を発生する。
人体への影響	シアン化カリウム	通常の取り扱いでは危険性は低い。 有毒。致死量（ヒト）：0.15～0.2g。 皮膚から吸収されシアン中毒を起こす。 眼の粘膜を激しく刺激して結膜炎を起こす。
	フェリシアン化カリウム	吸入または経口すると有害。眼、皮膚、のどを刺激する。
環境影響	シアン化カリウム	水に溶けやすく、魚介類に有害、水質汚濁物質や海洋汚染物質にも指定されている。
	フェリシアン化カリウム	データなし。

#### 4. 救急時の処置

直ちに医師を呼ぶこと。最寄りの救急病院への搬送手続きを行うこと。

**吸入した場合**：被災者を新鮮な空気のある場所へ移す。呼吸が出来ない時は、人工呼吸器を装着する。呼吸困難な場合は、酸素吸入を行う。

**飲み込んだ場合**：意識がある場合、水で口をすすぎ、多量の水を飲ませて希釈し、速やかに医師の処置を受ける。

**皮膚に付着した場合**：汚染した服や靴を脱がせ、石鹼水で洗浄し、多量の水で洗い流す。

**目に入った場合**：直ちに多量の流水で15分以上洗浄し、さらに多量の水で瞼の裏もすすぐ。さらに医師の処置を受ける。

（注意）シアン成分を吸収した場合は至急医師による亜硝酸ナトリウム水溶液とチオ硫酸ナトリウム水溶液を用いた解毒手当てを受ける。

#### 5. 火災時の処置

**引火点**：確立されていない。

**燃焼限界**：確立されていない。

**消火方法**：速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。熱分解により少量のシアン化水素を発生するため、呼吸装置の着用が望ましい。付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

**消火剤**：泡または粉末消火器、水。炭酸ガス消火器を使用してはならない。

**消火を行う者の保護**：消火作業の際には、呼吸用保護具を着用する。

## 6. 漏出時の処置

作業の際には、必ず保護具を着用する。吸着剤を用いて除去した後適切な容器に回収し、その場所を紙タオル等で拭き取って回収する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

**取扱い** : 製品レーベル記載の使用上または取り扱い上の注意に従う。眼、皮膚及び衣服への接触を避ける。取り扱い後は、十分に手を洗うこと。

**保管** : 製品レーベルに記載されている温度と条件に従い保管する。毒物及び劇物取締法の帰順に従い保管する。

## 8. 暴露を防止するための措置

**設備対策** : 換気設備、手洗所を設ける。

**保護具** : 呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣の着用

## 9. 物理的性質及び化学的性質

**外観等** : 凍結乾燥粉末、溶解後黄色

**pH** : 7-9

**沸点** : 約100°C

**蒸気圧** : データなし

**揮発性** : データなし

**比重** : データなし

**溶解性** : 水溶性

## 10. 危険性に関する事項(安定性及び反応性)

**安定性** : 2 - 8°Cの保存条件下で安定

**回避条件** : 日光、熱、湿気

**回避物質** : 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物。

シアン化カリウム 強酸との接触は避ける。強酸と反応して少量のシアン化水素ガスを生ずる。

**自己反応性・爆発性** : データなし。

## 11. 有害性に関する事項

**急性データ** :

**吸引した場合** : シアン化カリウムを含有するため、胃腸部の炎症、衰弱、吐き気、錯乱、頭痛、呼吸困難、チアノーゼ等 の中毒症状が現れることがあり、致命的になることもある。

**飲み込んだ場合** : 吸引した場合と同様の症状を起こす可能性がある。

皮膚に触れた場合： 緩慢から重篤な炎症を起こす可能性がある。水溶液は皮膚から吸収されて飲み込んだ場合と同様の症状を起す可能性がある。

眼に入った場合： 粘膜を激しく刺激し、結膜炎を起こすことがある

急性毒性：

シアン化カリウム	ヒト経口LDL0 2.857mg/kg、ラット経口LD50 5mg/kg マウス経口LD50 8.5mg/kg、ウサギ経口LD50 5mg/kg
フェリシアン化カリウム	マウス経口 LD50 2970mg/kg

亜急性毒性： データなし

慢性データ： データなし。

慢性毒性： データなし

がん原性： 本品に含まれる成分については、いずれも発ガン性物質とされていない。

変異原性(微生物、染色体異常)： データなし

生殖毒性： データなし

催奇形性： データなし

## 12. 生態影響に関する事項(環境影響情報)

移動性： データなし

残留性/分解性： データなし

生態蓄積性： データなし

生態毒性：

魚毒性： シアン化カリウム：コイTLm/48H：1.20ppm、ヒメダカTLm/48H：0.84ppm

その他： シアンとして1mg/L (排水の規制値)

## 13. 廃棄上の注意

本品の廃液は血液を含むため、感染性産業廃棄物として、各施設で地域の規則に従った廃棄方法を決定のこと。

シアン化カリウムの廃棄方法は次のいずれかによる。

**酸化法**： 水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性（pH 11以上）とし、酸化剤（次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉等）の水溶液を加えてCN成分を酸化分解する。pH 8くらいでは有毒なクロロシアンが発生するので注意する。CN成分を分解した後硫酸を加えて中和し多量の水で希釈して処理する。

**アルカリ法**： 水酸化ナトリウム水溶液等でアルカリ性とし、高温加圧下で加水分解する。

<備考> CN成分の酸化はアルカリ性で十分に時間をかける必要がある。シアン化カリウムの付着した紙等を焼却するとCN成分を含有するガスを発生するので洗

